



□ 発行 芳賀町工業団地連絡協議会

□ 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台 98

□ TEL 028(677)5033

□ <http://www.hokoren.com>

□ E-Mail : [information@hokoren.com](mailto:information@hokoren.com)

□ 編集責任者 七井 真人

## ■ 県県土整備部長へ要望書提出

細岡会長、富永副会長、渡邊副会長とともに事務局長七井が11月7日、県県土整備部長へ主要幹線道路整備と交通渋滞対策に関する要望書を提出しました。

細岡大会長は「かねてから要望させていただいている大塚工区、平出・板戸工区、宇都宮・高根沢工区など、前倒しの完成が予定されている工区は、目に見える形で進捗しています。皆さまのご尽力に改めて感謝を申し上げます。



LRT事業がいよいよ本格化してきたこともあり、工事に関連した交通渋滞を懸念しています。完成が目前となってきた工区について、交差点の車線や信号機の対応により、交通渋滞対策に万全を期していただきたく要望書を提出いたします」などと挨拶しました。

江連隆信県県土整備部長は「交通網の整備は我々の過去からの命題と捉えています。お蔭様で皆さまの後押しで、課題となっていた道路整備は先に見える形になってきました。

LRT 工事期間中の交通渋滞をご心配いただいておりますが、この地区は物流ネットワークが重要となりますので交通渋滞対策は極めて重要と認識しています。LRT 事業は多様性をもたらすものですので、それと道路整備を一体として整備していきます。現在推進している道路整備がこれらに寄与できるものであれば、前倒しで実施することは責務と考えています。方向性が見えてきましたので、引き続き県土整備に関してご支援を賜りたいと思います」などと挨拶しました。

提出した6項目の要望と県からの説明は次のとおりです。

1 主要地方道 宇都宮・向田線の大塚工区は、順調に工事が進捗していると認識しているが確実に予定時期に完成できるよう万全を期していただきたい。宇都宮テクノ街道に接続する芳賀台北交差点の車線構造と交通信号機の時間調整など、交通渋滞が発生しない対策を講じて欲しい。

併せて、台の原交差点についてもこれまで以上の通過台数が見込まれることから、車線構造と交通信号機の時間調整により、交通渋滞に対する配慮をお願いします。

### [県の説明概要]

大塚工区は、平成31年春の完成に向けて工事を進めている。芳賀台北交差点はテクノ街道からの左折を2車線、芳賀からテクノ街道への西進も右折2車線で計画している。

台の原交差点は、東進の右折2車線は延長を現在の倍に伸ばす。交通信号機も円滑な流れを確保するよう警察に要請している。

2 主要地方道宇都宮・向田線の平出板戸工区は、順調に工事が進捗しているものと認識しています。LRT軌道敷設にともなう交通渋滞を回避するため、本工区への車両の流入増加が見込まれることから、予定時期に確実に完成できるよう万全の対応をお願いします。

また、新設される新4号国道付近の交差点について、通過車両台数が大幅に増加しても円滑な通行を確保できる車線構造と信号機の時間調整をお願いします。

#### [県の説明概要]

平出・板戸工区の約600mは、2年前倒して完成させるよう平成31年春の完成に向けて工事を推進している。東から西方向への車線は左折、直進、右折の3レーンとします。西から東方向への車線は、直左折、直進、右折の3レーンにして交通の流れを円滑にする。

また、新4号国道にある信号機と新設交差点の信号機は約200mの距離なので、相互に連動する信号機にした上で交通の円滑化を図るよう警察と協議済みです。

3 宇都宮・高根沢バイパスについては、宇都宮テクノ街道と接続する交差点の構造に配慮いただきたい。車線構造と交通信号機の時間調整などを考慮いただき、増加が見込まれる車両がスムーズに通行できるよう万全の体制をお願いいたします。

#### [県の説明概要]

平成21年度から工事を実施していますが、平成29年2月に県道宇都宮・烏山線の田島交差点から板戸町まで2.7キロメートルは暫定2車線で開通させました。現在、板戸町から野高谷交差点まで2.6km区間は平成31年春の完成を目指して工事を実施しています。

平成31年春には宇都宮テクノ街道の寺内交差点（新4号国道付近）及び大塚工区が供用開始して交通量増加が見込まれることから、本線で交通渋滞が起きないように交差点部の車線延長を考慮することとしています。信号機の対応も警察と協議しています。

4 真岡・宇都宮バイパスの整備促進については、清南大地高架橋から国道123号までの2.8kmが平成33年に完全4車線で供用される旨のご説明をいただいているが、確実に予定時期に完成できるようお願いします。また、市道5340号線みずほの通り1.7kmも平成33年春に暫定2車線で真岡・宇都宮バイパスへ接続工事が完成する旨のご説明をいただいているが、予定通り完成できるよう宇都宮市との調整を図られるようお願いいたします。

#### [県の説明概要]

平成33年春の4車線化に向けて2車線の橋梁工事中、橋盤工事に入る予定です。接続する市道も平成33年春の開通に向けて整備中です。

5 県道上高根沢・氏家線の廻り谷地区の道路新設の促進については、芳賀・高根沢工業団地の隣接地域に新産業団地造成計画が進捗中であり、本道路工事について早い完成が待たれることから、完成年度を明確に示していただくとともに早期の完成をお願いいたします。

#### [県の説明概要]

平成25年度から事業を進めている。一部工事に入っているが用地買収に反対している方がいて、完成の時期はお知らせできない状況です。今年度も引き続き用地買収を進めていきます。





6 宇都宮テクノ街道の4車線化については、計画樹立の早期推進をお願いしたところ、暫定2車線で開通したあと、速やかに4車線化に向けた検討をする旨のご説明をいただいております。つきましては、平成31年春の暫定2車線開通が現実となることから、継続して4車線化に向けた調査、計画を推進されるようお願いいたします。

**[県の説明概要]**

市道312号までの600mを供用開始してから、新4号国道から辰街道までは順次4車線化を進める予定ですが、鬼怒川にかかる橋梁部の延長は930mで約50億円～60億円の費用が見込まれます。橋梁工事に多額の費用が掛り現在のところ全線4車線化の計画樹立は難しく、橋梁工事をどのタイミングで実施できるかご説明できません。

**要望箇所位置図**



## ■ 管理者のモチベーション アップ !!

総務企画部会が主催する初級管理者研修会を11月7日開催しました。

9社から管理者経験1年から3年程度の初級管理者13名が参加しました。半日の日程でしたが中身の濃い充実した研修を受講いただきました。

主催者代表で藤井弘文総務企画副会長が「我々を取り巻く経営環境はIoT、AI、ビッグデータ関連技術の発達により第四次産業革命と呼ばれる動きが加速しています。ビジネス動向やデータの利活用が付加価値の源泉となる時代となっています。近年は特に法令順守への強いこだわりに加え、産業構造や消費者の嗜好の変化を敏感に捉え、柔軟な発想で経営を変えていくことが求められる時代と考えます。本日の研修は直ぐに役立つ情報、即戦力の知識を学ぶことができますと思います。学んだことをしっかりと持ち帰って、業務に活かしていただくよう期待しています」と挨拶しました。



受講者一人ひとりから自己紹介があり、主任や課長などに就き、日頃から部下の指導や監督をする立場にあって「どの様に接すればいいか」、「どう指導すればよいのか」と不安や迷いを吐露する方が少なくないことが分かりました。

研修会の冒頭で講師は「部下をやる気にさせる上司力向上が課題です。リーダーの役割認識の重要性を再確認しましょう」と、研修の心構えを伝えました。そして、示唆に富んだ具体的事例を織り交ぜ、分かりやすく説得力のある講義をしていただきました。

リーダーの役割と認識の重要性を再確認することから講義がスタートしました。組織と個人を機能させるマネジメントとリーダーシップについて指導がありました。さらにプロセスマネジメントに関するアプローチ方法を詳しくアドバイスいただきました。

受講者に記述いただいたアンケートに「身近な視点で説明をいただきとても分かり易かった」、「漠然と理解していると認識していたが、決断力、行動力に欠けていたことを再認識できた」或いは「組織をまとめるため、しっかりと会社の理念を理解して部下に接することの重要性を強く認識した」などの気づきが記述されていました。

また、「リーダーとして率先垂範します」、「説得でなく納得してもらえるリーダーになります」などの決意表明の記述もあって、受講者の意識がステップアップしていることが窺えます。

業務多忙とは思いますが、研修で得たことを意識して実践し、部下に頼られ、上司に信頼される管理者となっていきたいと思えます。





## ■ 受講者『学んだことを即、実践』の熱い決意

安全衛生部会は11月13日、10社22名の参加により危険予知訓練（KYT）研修会を開催しました。

吉岡稔講師（（株）ホンダロジステックス）を中心に8人のコーディネーターが、5グループに分かれた受講者を丁寧に指導しました。

平成26年度から継続してきたこの研修会は、前年度の受講者の中からコーディネーターを選考し、充実した研修内容にバージョンアップしてきました。

真岡労働基準監督署から駆け付けた野澤署長は、「事故が起きる前、一人ひとりが予知した危険を事業所全体のレベルまで引き上げることで、危険ゼロにつなげることができます。KYT研修は職場全体の安全衛生対策に役立つ重要な取り組みとなるので、職場に持ち帰り実践していただきたい」などと開会式で挨拶しました。

小堀洋平副会長は「私も昨年度の研修会を受講し、指差し呼称、指差し唱和、健康問いかけKY、危険予知ミーティングを持ち帰り、労働災害防止対策に取り組んできました。本日は一日コースで中身の濃い研修となりますので一緒に学びましょう」などと開講の挨拶をしました。

研修は、「指差し呼称」、「健康問いかけKY」の実践方法や進め方を教えるビデオ映像からスタートしました。さらに、コーディネーターから詳しい説明を聞き、タッチアンドコールなど指差し呼称演連を行ないました。

午後は「危険要因の捉え方と表現の仕方」をインストラクターから受講した後、KYT基礎4ラウンドを学びました。

第1ラウンドの現状把握で、どんな危険が潜んでいるか。第2ラウンドの本質追及で危険ポイントの指摘。第3ラウンドの対策樹立で、あなたならどうするかアイデア出し合い。第4ラウンドの目標設定で、対策を絞り込む。これらの作業を5グループに配置された指導者のアドバイスを得ながら深掘りして行きました。各グループは討議してきた結果を発表しました。

全体終礼は、各グループ幹事の挨拶、各コーディネーターからアドバイスをいただき、修了証の授与で終了しました。

高山大輔安全衛生部会長は「指差し呼称を実践し、心のギアチェンジをしていただきたい。労災を防ぐためKYTが大切であることを改めて感じました。本日はご多用な中、講師を務め



ていただいた吉岡様、熱意をもってコーディネーターとしてお手伝いいただいた8名の皆さまに心からお礼を申し上げます」などと閉講の挨拶をしました。

受講者からは「グループメンバーの意見や他グループの発表を聞いて視野が広がった」、「会社に戻り早速KYTをやって行きます」、「異業種の方との意見交換で物事を深く考えるよい機会となりました」、「いつもの社内メンバーと違う発想が聞けて参考になった」、「次回の研修には社員を積極的に参加させたい」などの意見が寄せられました。



## ■ 春色パンジー 花壇をバランスよく彩る

雨を心配しながら部会メンバーは11月22日、ひばりが丘公園運動場の花壇にパンジーの花を植え込みました。手馴れた皆さまは、配色の組み合わせを考えながらも、驚くほどの早業で植付けを完了させました。

これからの冬季間も綺麗な花が、運動場を訪れた方を和ませてくれることと思います。

その後、管理センターで開催した第2回環境整備部会に13社13名の出席をいただきました。

半田毅部会長は、参加者に謝辞を述べ「皆さまのご協力で上半期の事業が無事執行できたことを感謝申し上げます。下半期も滞りなく執行したいので、引き続きご協力をお願いします。

次年度実施する創立30周年事業については、すでに芳工連だよりでご案内をしておりますので御承知かと思いますが、半田と鎌上副会長が実行委員として参画し、記念式典や記念事業の企画立案を担当しています。実施にあたっては部会の皆さまにご協力を頂くことになると思いますので、改めてご案内を申し上げますがよろしく願いいたします」と挨拶しました。

半田部会長が、優良事業所視察研修の希望を伺ったところ、特にご意見がないことから、主幹事となる安全衛生部会に詳細を一任することを決定しました。

資源ごみ回収売却実績は、上半期の資源ごみの売却収益は62,464円。前年度繰越金589,378円と合わせ651,842円となることを事務局から説明しました。

半田部会長は、「この収益金の一部を使い、創立30周年記念事業周知活動で使用するテントを購入したい」旨の提案し、購入を決定しました。





## ■ 豪華絢爛の宮殿と屋形船を堪能

総務企画部会による全体研修会を11月16日、13社22名の参加により開催しました。

今年度の研修テーマは、外交の舞台である迎賓館の見学を通して、明治時代からの近代化を辿る日本の歴史に思いを馳せ、国宝指定を受けた日本で唯一のネオ・バロック様式の洋風宮殿建築の美と芸術の神髄に触れるものです。

また、近代化が著しい東京湾のウォーターフロントを屋形船で巡りながら、古き良き江戸時代の舟遊び文化とおもてなし文化を体感するものです。

小春日和の天気恵まれ、予定どおり管理センターを出発しましたが、首都高速道路の渋滞に嵌り、時計を気にしながら都内へと進みました。

車中では、初参加の方もおいでになりましたので、参加者それぞれからトピックを紹介いただき、和やかな雰囲気研修をスタートできました。

迎賓館の到着は1時間遅れとなりました。空港の搭乗手続きと同様、厳重な手荷物検査を受けた後、大勢の見学所と共に室内に案内されました。

本館見学は、歓迎行事、首脳会談、晩さん会などを行う広間を次々に見学しました。11種類の大理石をモザイクに埋め込んだ廊下の幾何学模様が別世界を演出していました。

また、長い廊下と高い天井に広がるアンバーホワイトの内装は独特の高級感を醸し出し、独自の美意識を強く感じさせるものでした。

フランスのベルサイユ宮殿を思わせる天井画、西欧の最新技術や流行を取り入れた室内装飾に加え、和の意匠に拘る鎧武者などが目を引きまします。

室内の頭上には豪華なシャンデリア、天井には色彩豊かな天井画、足元には緞通や希少価値の床材、ドアを飾る金箔と金具などがひととき豪華さを際立たせています。

パンフレットから迎賓館の歴史を紐解くと、1872年（明治5年）に紀州徳川家が江戸中屋敷の一部を皇室に献上したことに始まります。1899年（明治32年）東宮御所建設着工され10年の歳月を費やして1909年（明治42年）東宮御所完成、1974年（昭和49年）迎賓館として開館しました。

日本の高度成長とともに外交活動も活発となり、国賓などを迎える機会が多くなって迎賓館がその役割を如何なく発揮するようになってきたように思えます。

1975年（昭和50年）にはエリザベス女王・フィリップ殿下をお迎えしています。1979年（昭和54年）には第5回先進国首脳会議が開催されたようです。

また、1993年（平成5年）の第19回先進国首脳会議（東京サミット）など重要国際会議の



会場として使用されてきました。

2006年（平成18年）には平成の大改修工事を着工し、2009年（平成21年）に完成しました。2009年には国宝の指定を受けています。

迎賓館の見学時間が少なかったのは残念でしたが、国内とは思えない中世ヨーロッパ風の豪華建築物と室内装飾品に参加者一同は圧倒され、感嘆の声を発しつつ迎賓館を後にしました。

次に、北品川の運河に向かい屋形船で昼食を摂りました。江戸時代には粋な船遊びが隅田川などで流行していたそうで、その名残を今に伝え、快適、清潔かつ高級感のある屋形船が現代に蘇っていました。

今回は、北品川からお台場、隅田川、永代橋、レインボブリッジから北品川に戻るコースでした。広い船内に椅子が配置され、テーブルには揚げたての天麩羅や刺身の舟盛りが運ばれました。細岡会長による乾杯の発声で宴席が始まり、日本料理に舌鼓を打ちました。

約2時間30分の乗船の後、私たちは東京タワーへ向かいました。1958年（昭和33年）竣工した東京タワーは東京のシンボルとして今も健在です。開業翌年に年間513万人を記録したそうですが、現在も年間300万人以上が来塔する人気スポットの一つです。現在はテレビ電波塔の役割は東京スカイツリーに移りましたが、近年のインバウンド効果もあって外国人観光客も多く、根強い人気が続いているようです。

今回の研修会は、迎賓館や屋形船が初体験という方が多く「参加して良かった」、「豪華な体験ができた」などのご意見を聞くことができました。また、帰路の車中ではカラオケに終始し、豹変したエンターテイナーの多いことに驚くばかりでした。アルコールも手伝って饒舌なムードメーカーのお蔭で、笑いとお声掛けが絶え間ない、楽しい一時を過ごすことができました。

全体研修会を通じて、会員相互の親睦と交流を深めることができましたので、会員企業の連携が強まり、さらなる活動の充実に活かせるものと思えます。



## ■ 商工会と交流会 酒造りの神髄を聞く

恒例となっている芳賀町商工会との交流会は11月30日、芳賀町商工会館に芳工連16社の25名、商工会会員20名の総勢46名が集い開催しました。

商工会と芳工連の会員が一堂に会し、研修及び懇談等による交流と親睦を図ることで、産業振興による地域発展への寄与を目的として開催しています。

主催者を代表して、細岡大会長が「芳賀町商工会と芳工連との交流会が、多くの皆さまのご出席をいただき開催できますことを感謝申し上げます。



今年の夏は記録的な猛暑、広域的な豪雨災害や大型台風の襲来、さらに北海道を震源とする地震など自然災害による甚大な被害が発生し、市民生活や産業活動に深刻な影響を残しました。改めて、BCP（事業継続計画）の重要性を再認識しています。

国内情勢に目を向けると、12月10日までを会期とする国会で年金・医療・景気・雇用などが議論されています。特に、外国人受入れの拡大に向けた出入国管理法改正法案の審議が大きく報道されています。もう一つの焦点は、2019年10月の消費税率10%への引き上げに伴う増税対策の骨子ではないでしょうか。私たちも関心を持って見守りたいと思います。

世界に目を向けると、アメリカ・トランプ政権による中国への制裁関税、イギリスのEUからの離脱交渉の行方などが注目されています。

さて、商工会の皆さまを始め、地域の皆さまに支えられてきた芳工連は、次年度に創立30周年を迎えることになりました。現在、30周年記念事業実行員会で記念事業実施に向けた企画を練っている段階ですが、30周年記念事業のコンセプトは『ありがとうの30年 地域と共に 活力ある明日へ』としました。30年の歴史は、企業と地域との絆があって歩むことができた歴史です。これからも地域と企業が安定した成長を持続できるよう、皆さまのご支援をいただきながら、活力ある明日へ向かって歩む決意をコンセプトに込めました。どうぞ、御理解と御支援をお願いいたします」などと挨拶しました。



交流会は、惣誉酒造株式会社の代表取締役社長河野遵様による「ものづくりを続けること」と題する講演です。

河野様は、1961年（昭和36年）生まれの57歳です。東京大学経済学部をご卒業後、財団法人松下政経塾を修了されました。1995年（平成7年）惣誉酒造株式会社の代表取締役社長に就任し現在に至っています。講演で河野様は次のようなお話をされています。

日本酒が一番売れたのは昭和48年の第1次オイルショックの年次である。昭和48年を100とすると現在は30で70%減となっている。私が惣誉酒造に戻った平成元年には芳賀地方に9軒の酒蔵があったが、現在は3軒だけになってしまった。県内の酒蔵は30軒を下回っている。全国には酒蔵が約1,200軒ある。

人口が減っていない当時からアルコールの消費は減っているのに、人口が減少する時代はどうすればよいか悩む。



地元の人が晩酌に飲む酒が地酒と言える。『地元こそ大切だ』との思いで長年酒造りを続けていたが、2011年の東日本大震災で建物が壊れ、建て直しをするなるなかで、販路を拡大して東京や海外でも売る必要性を強く感じた。

1982年（昭和57年）に大学を1年間休学してフランスに渡り、ワインメーカーを数多く訪れ、ワインに関する知識とワイン文化を学んだ経験がある。

パリから遠い田舎町のコニャック（人口18,000人）でつくられるブランデーは全世界で売られる高級酒である。

スコットランドではスコッチウイスキーが片田舎のグレンリベット行政区、ダフタウン（人口1,667人）で造られ世界で売られている。産業として出荷額は7,000～8,000億円で輸出が90%を占めている。

市場規模はワインが1兆円、スコッチが6,000億円から7,000億円、日本酒は187億円の輸出額である。日本酒の市場規模4,600億円のうち輸出額は、2011年90億円だったものが、現在は187億円まで伸びた。

今の時代を考えると、日本も伝統文化を海外に発信し、海外交流を本格的にする時代になっていると思う。そのような時代だからこそ、惣誉も地元を大切にしながら、県外、海外に酒を販売するよう考えている。どうすれば海外で売れるのか自問自答の日々である。

2011年にフランスボルドーで展示会があり5日間展示した。その時に関係した方は40年間フランスに住む日本人の業者だった。そのパートナーとの巡り合いが縁で、次々と販路が広がってきた。アメリカでの販売も同業者による仲介で販売が出来るようになった。海外での販売は積み重ねが大切と思う。急に売れるようにはならない。

近年の鑑評会で高い評価を得て金賞をとる酒は、香り高く、甘い酒である。このような酒は欠点を包み隠すことが出来る。今の時代は香り高い酒が好まれるようだ。特別な酵母を使用することになるが、これは冷蔵庫でせいぜい3カ月しかもたない軟弱な酒である。やはり昭和の大吟醸と平成の大吟醸では香りが違う。

ところが、生酏（きもと）造りは10度で保存すれば5年から10年は美味しい酒が飲める。この造り方は1700年代からの造り方で、時間と労力を要する製法です。生酏はワイン専門家の評価も高い。これなら日本食だけでなくフランス料理にも合う。世界に売り出しても評価をいただけると思っている。

講演を聞いて、これからの人口減少社会にあって、日本酒離れも拍車がかかり、歴史ある酒蔵を次世代に引き継ごうとすることへの苦悩が伝わりました。

河野社長は大学生のころから海外戦略が頭の片隅にあったようで、1年間休学してフランスへ渡り、コニャックなど希少価値で世界を席巻する高級なブランデーやワインの販売戦略に注目していたようです。

1995年（平成7年）社長に就任してから20年余り、現在はイギリス、フランス、アメリカの





業者と取引が始まり、海外販売戦略に明るい兆しが見えて来た印象があります。国内のメジャーな雑誌で惣誉酒造の記事を時々目に留めます。地元だけに誇らしい気持ちと頑張っ欲しい気持ちを抱きます。地元の人々が晩酌で飲む地酒を大切に造り、併せて世界でも評価される昔ながらの本格的な日本酒も造って、欧米の食通を満足させる戦略も拡大するよう応援したいと思いました。

講演会の後、芳賀温泉ロマンの湯に場所を移し、総勢 43 名の参加者による懇親会を盛大に開催しました。見目匡芳賀町長、石川保町議会議長、小林信二町議会産業建設常任委員長、手塚孝幸町商工観光課長をご招待した交流の場は、惣誉の河野様にも参加をいただき、地酒を酌み交わしながら親睦を深めることができました。



## ■ 産業安全衛生活動への誓い新たに

真岡労働基準協会は 11 月 28 日、会員事業場の労働安全衛生の更なる推進を図る目的で、真岡労働基準監督署の指導のもと真岡地区産業安全衛生大会を真岡市内で開催しました。

真岡労働基準協会長 中村卓也 日産自動車栃木工場長は、「年末に向けて労働災害の発生が増加する傾向がありますので、安全に対する決意を新たにできればと思います。

真岡管内の労働災害の発生状況は、先月 10 月までに死傷者数は 112 件で前年同期と比較して 14 件減少、死亡災害は前年同期と比較して 1 件減少し 1 件発生しています。如何に安全な職場環境を構築できるか、さらには、人を大切にして安全を最優先に考えた企業経営ができるかが求められます。経営トップの強いリーダーシップのもと、安全と健康を守る現場力の強化を柱とし、自主的な安全衛生活動の充実強化に最大限の努力をすることが大切です。

本大会を機に、いま一度労働災害防止の重要性を再確認され、真岡管内の災害を 0 とするため、なお一層の災害防止の取組みについて皆さまのご尽力をお願いします」となど挨拶しました。

大会の主唱者である真岡労働基準監督署野澤卓也署長は、「死亡労働災害を撲滅し、死傷労働災害の大幅減少を図るため、平成 30 年度労働災害防止対策強化運動を 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までを期限として実施しています。この運動では、安全のルールや作業手順の遵守徹底、発注者及び協力業者の安全な作業の実施をお願いしています。後悔する前に汗を流すことが大切なので、強化運動の取組みをお願いします。

来年 4 月改正の労働災害関連法は労働基準法、労働安全衛生法、労働時間等設定改善法に関する 9 項目です。多岐にわたり複雑となるので、法改正に向けて確りとした準備が大切です。

皆さまには、労働基準監督署が指導機関であることを忘れ、個別訪問支援を積極的に利用していただきたい。我々も後悔することのないよう安全



指導を愚直に取り組んで参ります」などと挨拶しました。

第1部の表彰式で、(株)リブドゥコーポレーション様が一般社団法人真岡労働基準協会会長から優良事業場表彰を受けました。また、優良従業員表彰を(株)本田技術研究所四輪R&Dセンターの増田健吾様、三好尚様の2名が受賞しました。

第2部の特別講演は、栃木県カーリング協会会長及び事務局長による「簡単なようで難しい！難しいようで簡単？」と題するカーリングをテーマにした内容でした。

ピョンチャンオリンピックで銅メダルを獲得した、カーリング女子日本代表のL S北見の活躍でカーリングが注目されています。栃木県でカーリングを普及してきた亀田祐司氏（栃木県カーリング協会会長）と鈴木義成氏（栃木県カーリング協会事務局長）が競技ルールなどを説明しました。また、ピョンチャンオリンピックの女子日本代表の試合映像を解説するなかで、カーリングの醍醐味を説明いただきました。

その後開催された情報交換会で、芳工連細岡会長が乾杯を担当し「とかく、安全と運営効率を対峙される方がいらっしゃいますが、事業の継続性と品質を担保する基本要件は安全です。労働者の安全確保を最大限尊重し、安全で安心して働ける環境をベースに、企業発展、地域の発展が図れるよう祈念します」と挨拶し、乾杯の発声をしました。

芳工連会員企業の皆さまを始め、普段お話しできない他市町の事業所の皆さまと有意義な情報交換をすることができました。



## ■ 管理センター休館のお知らせ

管理センターは12月29日（土）から1月4日（金）まで、年末年始の休館日となります。

### 芳工連日誌

#### 【11月の実績】

- 7日 初級管理者研修会
- 7日 県土整備部長へ要望書提出
- 11日 芳賀町民祭
- 13日 危険予知訓練研修会
- 15日 芳賀郡市公衆衛生大会
- 16日 総務企画部会主催全体研修会
- 22日 環境整備部会
- 27日 全国暴力団追放運動中央大会
- 28日 真岡地区安全衛生大会
- 28日 資源ごみ回収日
- 30日 芳賀町商工会との交流会

#### 【12月の予定】

- 1日 第57回ゴルフ大会
- 3日 30周年記念事業部会
- 5日 安全活動事例発表会
- 19日 30周年記念事業部会
- 20日 第3回役員会
- 26日 資源ごみ回収日
- 28日 仕事納め